

# 算数科年間指導計画

## 第2学年

### 学習目標

- (1)数の意味や表し方、加法及び減法の意味について理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味を理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。  
 (2)長さの単位や測定、時刻を読むことについて理解できるようにする。  
 (3)図形に親しみ、それについての基礎となる知識や技能などを用いたりすることができるようにする。

### 授業の工夫

児童が算数の学習は「楽しいもの」、「役に立つもの」という実感を持つことができるような授業を心がけていきたいと思ひます。そのために実生活における様々な事象との関連を考えながら、作業的・体験的な活動を多くとり入れていきます。計算や測定などの基礎的な技能については、練習の機会を多く設け、繰り返すことによって確実に基礎・基本を身に付けさせていきたいと思ひます。

### 年間授業計画

月	単元名	時数		
4	1 ひょうとグラフ	15	[評価の観点] 【算数への関心・意欲・態度】 数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、生かそうとする。 【数学的な考え方】 算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を見につけ、見通しを持ち筋道を立てて考える。 【数量や図形についての表現・処理】 整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、物の大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりする。 【数量や図形についての知識・理解】 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての基礎となる性質を理解している。	
	2 1000までの数			
5	3 たし算のひっ算	13		
6	4 ひき算のひっ算	15		
7	5 いろいろな形	11		
	6 とけい			
9	7 たし算とひき算(1)	13		
	8 長さ			
10	9 かけ算(1)	21		
	10 かけ算(2)			
11	11 かけ算(3)	15		
12	12 かけ算(4)	13		
1	13 長さ(2)	17		[評価の方法] 単元ごとのテスト・小テストなどを中心に宿題や学習態度や発表など普段の学習の様子を加味して評価します。
	14 1000より大きい数			
2	15 三角形と四角形	13		
3	16 たし算とひき算(2)	9		
	17 2年のまとめ			
年間授業時数		155		